



栗原市ゼロカーボンシティ宣言

～ 目指そう 二酸化炭素ゼロ! 豊かな美しいくりはらを次世代へ ～

栗原市は、栗駒国定公園に含まれる栗駒山を擁し、ラムサール条約湿地に登録されている伊豆沼・内沼のほか、栗原市全域が栗駒山麓ジオパークのエリアとなっている豊かな自然に加え、先人から引き継がれてきた数多くの伝統行事が今なお残るなど、歴史や文化にも恵まれた田園都市です。

この「豊かな美しいくりはら」を未来の世代に継承していくことは、今を生きる私たちの責務です。

近年、地球温暖化による気候変動の影響は、気象災害の頻発など顕著に現れています。本市においても未曾有の大規模災害に見舞われながらも、復興と再生を掲げ、市民・事業者・行政が一丸となって乗り越えてきたものの、今後、気象災害の更なる多発化・激甚化が予測され、市民の生命・生活基盤を揺るがす気候危機は大きな脅威となっています。

2015年に合意されたパリ協定では、「世界の平均気温上昇を1.5℃に抑える努力を追求する」ことを世界共通の目標として掲げられ、日本においても2050年カーボンニュートラルの実現、2030年度温室効果ガス排出量46%の削減を目指すことを表明されました。

こうした状況を踏まえ、市民・事業者・行政など多様な主体と協調し、世界的なSDGs達成への貢献と、脱炭素の潮流を本市の新たな成長機会に変えるため、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ栗原」の実現に向けて、挑戦していくことをここに宣言します。

令和6年(2024年)2月9日

栗原市長

佐藤 智